

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

| | |
|-------|--------------------------------------|
| 事業所番号 | 4077300244 |
| 法人名 | 有限会社 ひがし |
| 事業所名 | グループホーム たかみ |
| 所在地 | 福岡県うきは市高見1750-1 (電話) 0943-77-3040 |

| | |
|-------|---------------|
| 評価機関名 | 福岡県社会福祉協議会 |
| 所在地 | 福岡県春日市原町3-1-7 |
| 訪問調査日 | 平成20年2月8日 |
| 評価確定日 | 平成20年3月11日 |

【情報提供票より】 (平成20年1月24日事業所記入)

(1) 組織概要

| | |
|-------|-------------------------------|
| 開設年月日 | 昭和・平成 18年 3月 1日 |
| ユニット数 | 2 ユニット 利用定員数計 18 人 |
| 職員数 | 15 人 常勤 13人, 非常勤 2人, 常勤換算 6人, |

(2) 建物概要

| | |
|------|----------------|
| 建物構造 | 木造 造り |
| | 2階建ての 1 ~ 2階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | | |
|---------------------|----------------------|----------------|---------|---|
| 家賃(平均月額) | 30,400 円 | その他の経費(月額) | 9,150 円 | |
| 敷金 | 有(円) (無) | | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | (有) (100,000 円) 無 | 有りの場合 償却の有無 | 有 / (無) | |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 | 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ | 円 |
| | または1日当たり | 1,000 円 | | |

(4) 利用者の概要 (平成20年1月23日現在)

| | | | | | |
|-------|---------|------|------|----|------|
| 利用者人数 | 16 名 | 男性 | 6 名 | 女性 | 10 名 |
| 要介護1 | 10 名 | 要介護2 | 3 名 | | |
| 要介護3 | 2 名 | 要介護4 | 1 名 | | |
| 要介護5 | 0 名 | 要支援2 | 0 名 | | |
| 年齢 | 平均 88 歳 | 最低 | 76 歳 | 最高 | 95 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|--------------------------|
| 協力医療機関名 | 筑後川温泉病院 上田内科胃腸科医院 中村歯科医院 |
|---------|--------------------------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所は田園の自然と民家に囲まれ、一方はJRの沿線にある柔らかな色彩の建物で、穏やかな暮らしを醸し出している。利用者の表情には笑みがあり、整容も正しく平和な日々が伺える。菜園には、緑の野菜が数多く育ち、食卓に上り、話題を豊かにしている。当日の献立の柚子味噌ふるふき大根は総て自家製であり、郷土色に心が和む。内にこもらないケアを実践し、ドライブ等の外出や地域イベントに参加・招待をして、地域と共に楽しむ機会を多く持ち、利用者・家族から喜ばれている。代表者・全職員は、地域福祉への貢献を目標に、市と協議しながら地域密着型のケアを目指している。利用者間・職員間の温かい和を基盤にし、サービスの質の向上に取り組んでいる事業所である。

【重点項目への取組状況】

| | |
|-------|---|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 前回評価での改善課題については、市町村との関わり等、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。 |
| 重点項目① | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | 運営者・職員は、自己評価・外部評価を実施する意義を理解している。全職員で数回にわたり項目毎に検討して意見を出し合い、2ユニットの管理者がそれぞれまとめ上げている。 |
| 重点項目② | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) |
| | 運営推進会議は定期的開催し、事業所から、利用者の現状報告・サービスの実績、行事報告、事業所交流会研修、評価への取り組み状況等、話し合いを行い、参加者から意見を貰い、サービス向上に活かしている。 |
| 重点項目③ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8, 9) |
| | 意見や苦情については、できるだけ運営推進会議で話してもらうよう促したり、家族等の来訪時に意見を聴くよう声掛けに努めており、職員と家族が交流できる機会作りにもなっている。意見箱の設置、第三者相談窓口の明文化を行っている。 |
| 重点項目④ | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) |
| | 事業所イベントの夏祭りや餅つき会に地域住民の参加がある。また、地域保育園の招待で運動会やコンサートに出かける等し、地域との交流を図っている。中学生の体験学習を受入れ、近隣から農産物の差し入れがある。 |

| 項目番号 | | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|----|--|---|----------------------|-----------------------------------|
| 外部 | 自己 | | | | |
| 【I 理念に基づく運営】 | | | | | |
| 1. 理念の共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 地域密着型サービスの意義を全職員で確認し、「地域のなかでその人らしく生活を支えるケア」という、事業所と地域の関係性強化の視点を盛り込んだ事業所独自の理念をつくりあげている。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 毎朝申し送り時に全職員と利用者共に、声に出して理念を唱和している。ミーティングでは、実践が理念に基づいたものになるよう理念を確認し合うようにしている。 | | |
| 2. 地域との支え合い | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 事業所イベントの夏祭りや餅つき会に地域住民の参加がある。また、地域保育園の招待で運動会やコンサートに出かける等し、地域との交流を図っている。中学生の体験学習を受入れ、近隣から農産物の差し入れがある。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 運営者・職員は、自己評価・外部評価を実施する意義を理解している。全職員で数回にわたり項目毎に検討して意見を出し合い、2ユニットの管理者がそれぞれまとめ上げている。前回評価での改善課題については、市町村との関わり等、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。 | | |
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議は定期的開催し、利用者の現状報告・サービスの実際、行事報告、事業所交流会研修、評価への取り組み状況等、話し合いを行い、参加者から意見を貰い、サービス向上に活かしている。 | | |

| 項目番号 | | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|----|--|---|----------------------|--|
| 外部 | 自己 | | | | |
| 6 | 9 | <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> | <p>運営者は、事業所の実情やケアサービスの取り組み、直面している問題を相談する等、行政と関係作りを積極的に行っている。</p> | | |
| 7 | 10 | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> | <p>運営者は、テキストを整備し、地域権利擁護事業や成年後見制度について受講し、利用者・家族へ入居時に説明している。月1回の定例会時に、パンフレットで学習会の機会を作っている。</p> | ○ | <p>研修記録を残し、資料等は職員がいつでも確認出来るように事業所で保管してほしい。</p> |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 8 | 14 | <p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> | <p>毎月の請求書に、事業所便りや暮らしぶり等の手紙、写真等を同封し、送付もしくは手渡している。また、家族の来訪時に、利用者の暮らしぶり、健康状態、金銭出納帳を領収書共に閲覧してもらい、印鑑、署名をもらっている。緊急時は家族に電話で状況報告している。</p> | | |
| 9 | 15 | <p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>意見や苦情については、できるだけ運営推進会で話してもらうよう促したり、家族等の来訪時に意見を聴くよう声かけに努めており、職員と家族が交流できる機会作りにもなっている。意見箱の設置、第三者相談窓口の明文化を行っている。</p> | | |
| 10 | 18 | <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> | <p>管理者は、馴染みの職員が対応する事が重要と認識しており、ユニット間の職員も固定化し、異動も最小限に抑えるよう努力している。職員が異動する場合は、引継ぎ期間を十分に設けている。</p> | | |

| 項目番号 | | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|----|---|--|----------------------|---|
| 外部 | 自己 | | | | |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 11 | 19 | <p>○人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p> | <p>性別・年齢などを理由に採用対象からの排除はない。運営者は、事業所で働く職員について、各個人の能力を發揮して、安心して働ける職場環境を目指している。</p> | | |
| 12 | 20 | <p>○人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p> | <p>運営者は、パンフレットを整備し、利用者に対する人権尊重、職員に対する人権教育に取り組んでいるが、全職員への研修までには至っていない。</p> | ○ | <p>内部または外部研修への参加の機会を設けて、人権教育を実施してほしい。また、研修記録を残し、資料等は職員がいつでも確認出来るように事業所で保管してほしい。</p> |
| 13 | 21 | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p> | <p>運営者は案内を常に掲示する等職員に日常的に学ぶ事を推進し、職員の計画的な学びの確保に努め、全職員の研修内容を報告する機会を持っている。</p> | | |
| 14 | 22 | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>全国グループホーム協議会に加入している。また、管理者・職員は、うきは市介護サービス事業の連絡会で、地域同業者と交流・連携を図っている。視察や研修会を行い、サービスの質の向上に努めている。</p> | | |
| 【Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援】 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 15 | 28 | <p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p> | <p>家族の見学を受け、職員が自宅訪問、病院訪問を行い、利用開始に至っている。やむを得ず即利用になった場合は、家族等に事業所を訪問してもらおう等して、利用者に安心感を与えるよう努めている。</p> | | |

| 項目番号 | | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|----|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| 外部 | 自己 | | | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 16 | 29 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 利用者と一緒に漬物漬け等の作業をしながら、野菜の種まきの時期や、伝統的な行事の由来等を教わっている。職員と利用者が共に過ごし、学び支え合う関係を築いている。 | | |
| 【Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント】 | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 17 | 35 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々の関わりの中で利用者に声をかけ、思いや意向などの把握に努めている。意思疎通が困難な利用者には、利用者の衣替えを手伝いながらそれとなく確認したり、本人の生活歴や家族から情報を得るようにしている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 18 | 38 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 担当職員が本人・家族から意見・要望を聴き全職員へ伝え、気づきアイデア等を意見交換し、現状に即した本人本位の具体的な介護計画を作成している。本人・家族の了承のサイン・押印がある。 | | |
| 19 | 39 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 6ヶ月に1回、見直している。また利用者の状態変化時には随時、本人・家族関係者と話し合い現状に即した見直しを行っている。緊急時には電話で連絡し、詳細に伝えている。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 20 | 41 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 利用者が入院した際は職員が交替で見舞いに行き、本人・家族・医療機関と連絡、情報の交換をし早期退院に取り組んでいる。本人・家族の状況に応じて通院や送迎など必要時には個別に柔軟な支援をしている。 | | |

| 項目番号 | | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|----|---|--|----------------------|--|
| 外部 | 自己 | | | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 21 | 45 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 本人・家族の希望・意向を大切にし、かかりつけ医への受診希望に柔軟に対応支援している。かかりつけ医・協力医・他の医療機関とも関係作りをし、いつでも適切な医療を受けられるよう支援している。 | | |
| 22 | 49 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化や終末期の事業所の対策方針は定まっていない。 | ○ | 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から、利用者の意向を大切にしながら、家族・かかりつけ医、職員と話し合いを行って合意を図り、全員で方針を共有してほしい。 |
| 【IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援】 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1) 一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 23 | 52 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 職員はミーティング時に話し合い、プライバシーの尊厳については理解しているが、声かけ時等の意識化までには至っていない。利用者の個人的な事や記録について、他の家族に話さない事等は徹底している。 | ○ | プライバシーの尊厳について内部学習・ミーティングを徹底して行い、職員のプライバシー尊厳への意識化、実践を行ってほしい。 |
| 24 | 54 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 利用者一人ひとりの体調に配慮しながら、外気浴・散歩・買い物・ちまき作り等、その日その時の希望を把握し努力しているが、一人ひとりのペースにあわせての支援には至っていない。 | ○ | 事業所の1日の基本や決まりを優先せず、できるだけ1日・時間を利用者本位のゆっくりペースで支援してほしい。 |
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 25 | 56 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 利用者と職員は準備・片付けを一緒にし、同じ物を同じテーブルで食べている。会話による楽しい雰囲気作りをし、さり気なく介助している。 | | |

| 項目番号 | | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|----|--|--|----------------------|-----------------------------------|
| 外部 | 自己 | | | | |
| 26 | 59 | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p> | <p>希望にそって、毎日入浴支援を行っている。全利用者が楽しめるよう入浴支援をしている。</p> | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 27 | 61 | <p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p> | <p>調理手伝い・手芸・梅干作り・らっきょ漬け、習字・慣習、カラオケ等、利用者の得意分野や生活経験・知恵を発揮できるよう、それぞれの役割・楽しみ・気晴らしの支援をしている。</p> | | |
| 28 | 63 | <p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p> | <p>天気や気候に合わせて毎日散歩し、外気浴をしている。ファミリーレストランに行く等、外食支援も行っている。買い物は週2～3回、ドライブは、花見など月1回、外出支援をしている。</p> | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 29 | 68 | <p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p> | <p>職員が利用者一人ひとりの日々の動きや習慣を把握して、日中鍵はかけていない。職員同士の声かけや見守り連携で細やかに対応している。近隣にも理解を求め、見守り・声かけをお願いしている。</p> | | |
| 30 | 73 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> | <p>年1回、消防署の協力を得て避難訓練・消火訓練を実施し、マニュアルを作成し職員は周知している。避難訓練時には地域住民へ声かけをしている。非常食・飲料水・備品を準備している。</p> | ○ | 最低年2回、避難訓練等を実施してほしい。 |

| 項目番号 | | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|----|--|--|----------------------|--|
| 外部 | 自己 | | | | |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 31 | 79 | <p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p> | <p>栄養摂取量は利用者全員の記録があるが、水分摂取量の記録はない。一人ひとりの嗜好を把握し、献立に取り入れている。</p> | ○ | <p>最低年1回は、栄養士等による専門的アドバイスやチェックを受け、利用者の健康管理に努めてほしい。また、一人ひとりの水分摂取量についても、大まかに把握してほしい。</p> |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1) 居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 32 | 83 | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>畳室に炬燵を設置し、集まって話したりテレビを見たり寛げる雰囲気を出している。玄関やホールの随所に花を飾り、職員の声やテレビの音量も適切で、光はカーテンでほどよく調整し、居心地良い工夫をしている。</p> | | |
| 33 | 85 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>利用者の使い慣れた整理箆筒・テレビ・椅子・ベッド・布団・家族写真など馴染みの物を持ち込み、本人が居心地よく過ごせるよう工夫している。</p> | | |

※ は、重点項目。